

広島市教育センター所報

No. 10
昭和57年6月

広島市教育センター
広島市東区牛田新町一丁目17番1号
〒730 電話 (082) 223-3563

開かれた教育センターへ

—増築工事の落成に際して—

広島市教育センター所長 久保田 尚

当教育センターでは、このたび、多くの方々の深い御理解と絶大な御尽力により、増築工事が完成し、新しく実験・実技、製作実習や教育工学、教育相談等の施設・設備を備えた総合的な研修施設として活動を始めました。

教育の向上に資するという所期の目的を達成するために、「開かれた教育研究・研修のセンター」を志向し、「役に立つ・活用される教育センター」としての機能を創り出すよう鋭意努力してまいりたいと思います。

〈研修講座の充実と選択受講を〉

専門研修講座については、教育現場の課題や要望をふまえ、日常の実践との結びつきを深めた研修となるように、研修内容・方法・形態の見なおしを重ね、基礎的、本質的なもの、具体的、実践的なもの、問題解決に生きて働くもの等に力点をおいて講座の編成を行っています。

また、講座の指導者には、その分野の専門家を招へいするとともに、経験豊かな教育現場の先生方に御協力を願い、研修内容の充実を図りたいと考えています。

先生方には、直面している課題や個々のニーズに応じて講座の内容と機会をとらえ、積極的に生かしていただきたいものです。

〈随時研修の場としての活用を〉

自己研修と校内研修は教職員研修の根幹であり、その両者を補い、主体的な研修を援助

することは、教育センターの役わりの一つでもあります。

先生方が、個人の自発的な研修や、校内研修の発展として、あるいは研究グループや同好会で、市教育研究会等で、主体的な研修が行われる場合には、必要に応じて随時、当教育センターにおいていただき、施設・設備を活用して研修を深めていただきたいものです。

〈教育相談や研究相談の充実を〉

児童、生徒の教育上の諸問題について、先生方や保護者との相談、あるいは学習指導等について、個々の先生方の研究の相談に応じ、その援助活動を行いたいと考えています。

〈校内研修等のお手伝いを〉

校内研修会等への指導主事の参加要請に対しては、従来も事業遂行に支障のない範囲で参加させていただきましたが、今後も俱学俱進の道を歩みたいと考えます。

〈教育資料の活用を〉

教育図書・資料、視聴覚資料等を、個人研修や校内研修で、あるいは授業などで大いに活用していただきたいものです。

教育センターは、「教師の変容即子どもの成長」の視点に立って、自戒と自己変革に努める研修者としての先生方と、ともに学び、ともに語りあえる共通の場として、機能的にも情意的にも「開かれた研修の場」となることを願って歩み続けたいと思います。

教育は人である

中国新聞社論説副主幹 丸橋純幹

去る5月6日、広島市教育センター第二期増築工事竣工に伴う落成式を挙りました。その際、講師に中国新聞社論説副主幹丸橋純幹先生をお迎えし、「教育は人である」というテーマで御講演いただきました。この講演の要旨を御紹介します。

一番必要なこと

今世紀の曲り角で活躍したマックス・ウェーバーというドイツの社会学者がいます。

この人が「将来というものは、いつの時代でも見通し難い。一番必要なことは、どんな事態にも適応できる世代を残すことだ」と述べています。



丸橋純幹先生

しかし見失ってならない別の面もあるように思います。

効率と価値の一貫性

日本は急速に第二次大戦の荒廃から立ち直り、先進工業国の仲間入りをしました。

その活力はどこから生まれたのでしょうか。

先のマックス・ウェーバーは人間の合理的行動を目的合理性と価値合理性の二つに分けています。目的合理的行動とは、ある目的を達成するために最も効率的な手段を選ぶ行動です。

生産性を高めるために新鋭技術を導入するのもそうですし、主婦が安い買い物を探すの

も目的合理的行動だと言えます。

価値合理的行動というのは、効率よりも価値の一貫性を追求する行動です。

自分の信条を貫くために、当選の見込みのない候補者に投票する行動もその一例と言えましょう。

ウェーバーの流儀でいきますと、目的合理性と価値合理性の重なり合いが今日の日本をもたらしたのだと言えます。つまり新鋭技術の積極的な導入に現われている目的合理的行動を、職業を生計を得る手段以上のものとみなす価値感が内部的に支えてきたというわけです。

新しい価値感

ところが、しばらく前から様子が変わってまいりました。世論調査を見ましても、職業に生きがいを感じると答える割合は年々減ってきています。しかし、これは当然だと言えないことはありません。

私たちは10年前、20年前とは比較にならない「豊かな社会」に住んでいます。物質的な豊かさよりも、生活の質を大事にするようになったのも自然の成り行きです。むしろ進歩というべきでしょう。

もちろん、職業に生きがいにする考え方が不必要になったと言うわけではありません。

社会がいかに近代化しても、農業が不可欠のように、職業倫理は不可欠です。ただそうした職業倫理を内部に包み込んだ、もう一回り大きい価値感が必要な時代に入りつつあると言いたいのです。

人間は「しらけ」きれない

解体と再編の過渡期にある現在、それが何であるかを答えることはできません。ただ言えることは、人間は決して「意味の世界」・「価値の世界」から離れられないということです。言い換えれば、人間は決して「しらけ」きれないということです。

そうでなければ、ユダヤ人を大虐殺したナチスに、何千万のドイツ人がなぜついて行ったのかというナゾは解けません。ナチスの宣伝に乗せられたのだというのは答えになりません。第一次大戦後の社会の無規制状態、価値感の喪失に耐えられず、偽りの秩序を選んだというのが真相に近いと思います。

確かに現在「しらけ現象」がないとは言えません。価値合理性を欠いた目的合理性の一人歩きは、苦しいことにはそっぽを向き、できるだけ楽をしたいという態度に通じます。

ウェーバーの言う「心のない享樂者」です。

しかしこうした「しらけ」の背後には、満たされない生活の実感への切望が隠されているように思えてならないのです。

現れ方に違いはあれ、子供たちの家庭内暴力や校内暴力についても、同じことが言えるのではないのでしょうか。

2つの錯覚

拘束の少ない社会ほど進歩した社会だという考えは錯覚です。もともと拘束のない社会などあり得ません。文化の変革とは、時代にそぐわなくなった拘束を時代に即した拘束に入れ替えることです。

拘束の量というより質の問題です。

あえて拘束という刺激的な言葉を使いましたが、社会ルールと言い換えても、実態に変わりはありません。子供たちはむしろ生活実感の伴う新しいルールを求めているのかもしれませんが。大人たち、特に教育者にもっと指導性がほしいと思います。

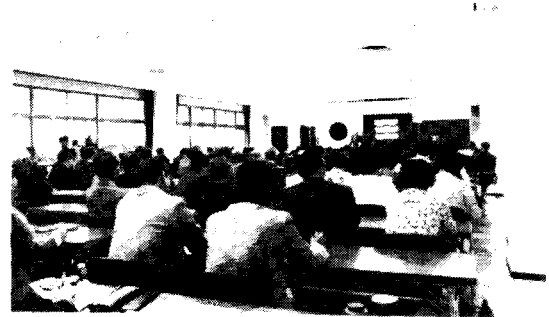
また、科学進歩の衝撃があまりにも圧倒的なためでしょうか、知識偏重の風潮から抜け

きれないのも気がかりな点です。

科学が自動的に社会の方向を決定するとは、誰も考えていないでしょうが、教育を含め社会の実際の動きを見ると、この考え方から自由だとは必ずしも言い切れません。

子供時代の経験が核

価値合理性について、京大の作田啓一教授が面白い例を挙げています。



講演風景

登山者は一つの山を征服すると、さらに難しい山に挑む。この行動を駆り立てるものが価値合理性だと言うのです。つまり価値合理性は困難を克服する活力でもあり、同時に困難を克服によってさらに育っていくものだと言うのです。

ウェーバーの言う「どんな事態にも対応できる世代」は、こうした価値合理的な態度を抜きにしては生まれようもありません。

そして価値合理的な態度の核となっているのは、おそらく子供時代の社会的、心理的経験でしょう。

これは大人、特に教育者自身がどう社会とかわり合っているかの問題です。

結局「教育は人なり」ということに帰着します。まことに単純な結論ですが、考えて見ればこれほど複雑で困難な問題はないように思います。

教育センター紹介

お知らせ

○ 随時研修

今年度から、市教育研究会・学校・グループ及び個人等で来所されて、センターの施設や機械・器具等を活用した研修ができます。お申し込みは事前に電話等で教育センターへ。(TEL(082)223-3563)

○ 教育相談

一般教育相談と障害をもつ児童生徒の教育相談に応じます。

一般教育相談は当センターへ(TEL223-4420) 障害をもつ児童生徒の教育相談は広島市児童総合相談センター3階の教育相談室へ。

(TEL264-0422)

○ 教育図書資料

教育研究資料室(市立袋町小学校内)の所蔵資料のうち、8ミリ、16ミリフィルム、ビデオテープ、研究集録等が当センターの教育図書資料室へ移管されました。

十分に御活用ください。

教育センターの施設

教育センターの施設・設備の一部において、機能等を結合します。随時研修などで御活用ください。

◆ 1 階

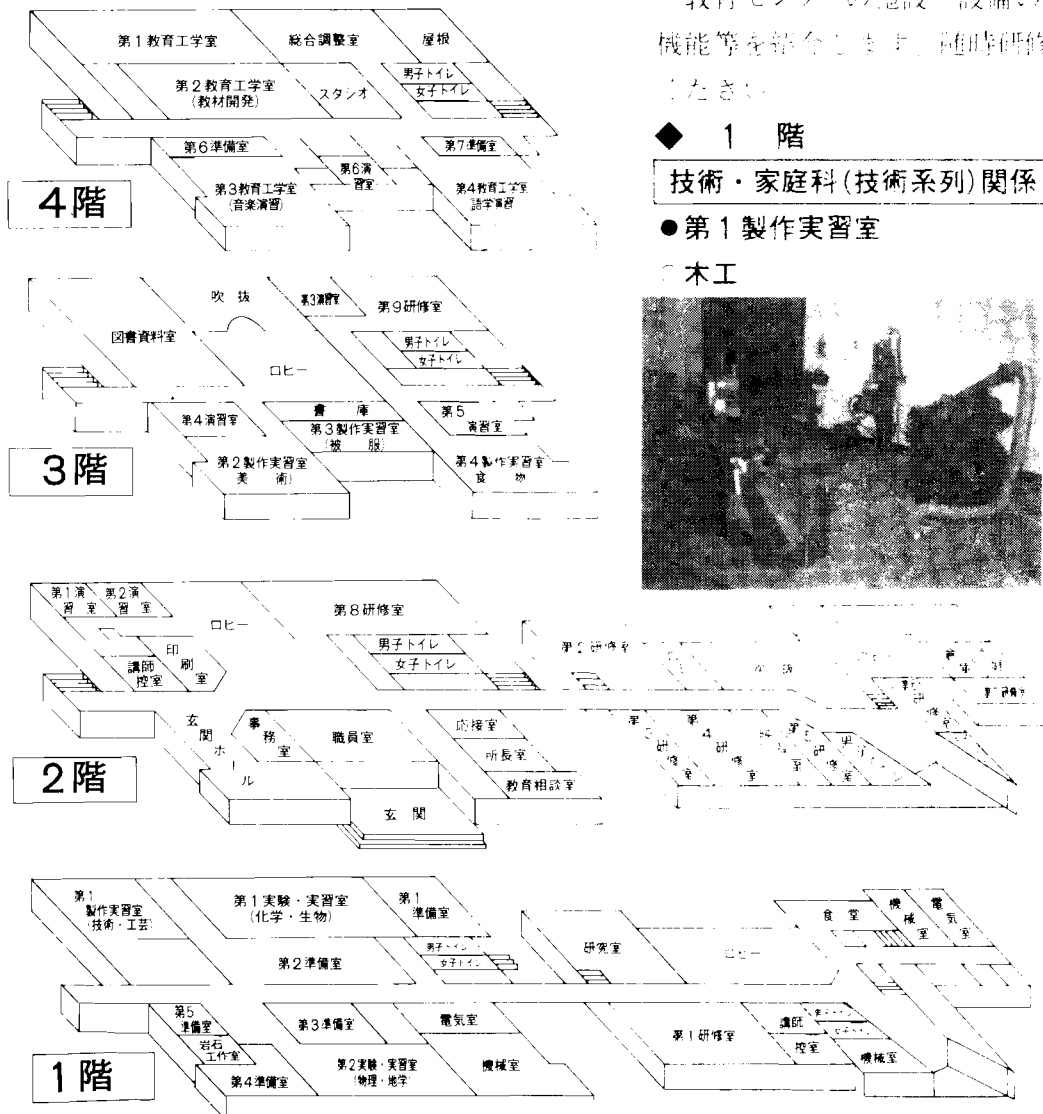
技術・家庭科(技術系列)関係

● 第1 製作実習室

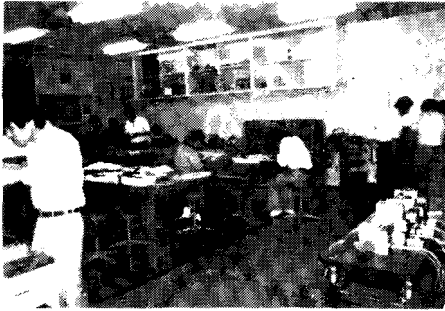
○ 木工



木工工作機械や各種工具類、皮成り機、電動ドリル等の修繕や家庭用器具、木工器具、美術材料の土器等を中心とした領域に関する教材製作、教材開発などの研修ができます。



○金工

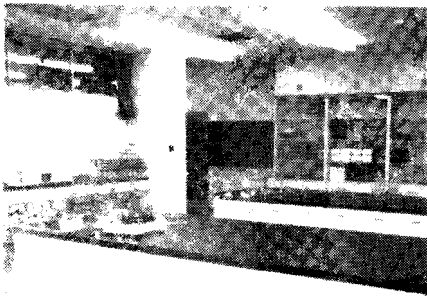


万能試験機、金属顕微鏡等があり、金属加工、機械領域に関する

各種実験・計測、さらに高速カッター、板金折曲切断機等の工作機械により、教材教具の開発や製作ができます。

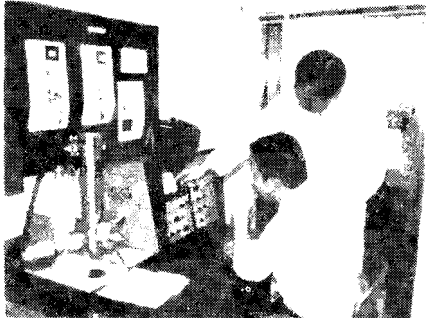
理科関係

●第1実験実習室(化学・生物)



初等理科、化学・生物関係の実験実習室としての機能を持っています。

●第1準備室(生物)



自動環境調節装置や8万倍の電力を持つ電子顕微鏡等があり

教材開発、教材研究、指導法の研究等ができます。

●第2準備室(化学)

純水製造装置、デジタル自動上皿ばかりなどがあり、化学諸実験、教材研究などができます。

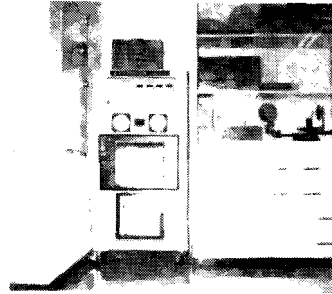
●第2実験実習室(物理・地学)

物理・地学関係の実験実習室で各実習機には、交流・直流両電源があり、直流は安定化電源装置による安定電流が得られます。

●第3準備室(物理)

物理関係諸実験、教材研究のほか光学実験室では光学実験や写真教材等の製作ができます。

●第4準備室(地学)

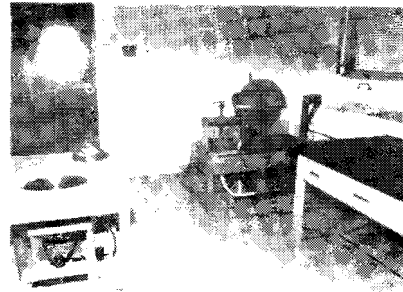


総合気象観測装置によって、気温・気圧・湿度・雨量・風向・風速等のデータ

が自動的に記録され、これらのデータはコピーして授業に活用することができます。

このほか、教材研究、教材開発、指導法の研究などもできます。

●岩石工作室

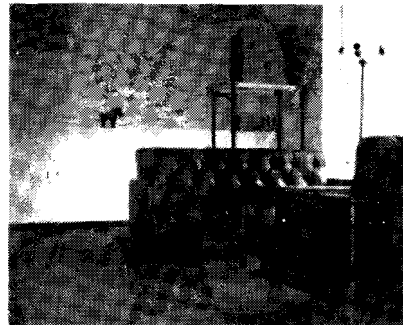


岩石の切断、研磨により、岩石標本・岩石薄片の製作ができます。

◆ 2 階

教育相談関係

●教育相談室



広島市に在住する児童生徒とその保護者及び先生方の教育相談に応じます。

相談の内容は、学業不振、性格上の問題、困った行動や癖、人間関係、心や体の悩みなどです。

そのほか、障害児教育や教育相談に関する研究や研修ができます。

一般研修関係

●第1～第9研修室

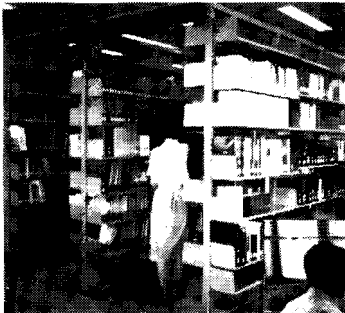


約30名から約180名の収容能力を持つ研修室が9室あります。主として、講義・講演等の聴講や研究協議用として使用できます。教材提示装置、OHP、ビデオテープ視聴装置を備えています。

◆ 3 階

教育図書・資料関係

●教育図書資料室



出しなどを行っています。

教育関係図書や教育に関する資料の閲覧・貸出し及び視聴覚資料の視聴・貸

図画工作科・美術関係

●第2製作実習室



図画工作・美術等の作品製作や陶芸窯・エッチングプレス、電動ロクロ等を活用した作品の製作実習及び教材研究、教材開発指導法の研究などができます。

家庭科、技術・家庭科(家庭系列)関係

●第3製作実習室(被服)

●第4製作実習室(食物)



被服実習室では被服製作実習や耐摩耗試験機、布保温性試験機などを使った実験・計測のほか、教材研究、教材開発、指導法の研究などができます。

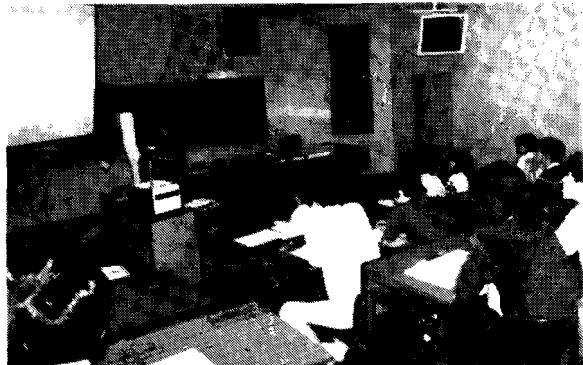
食物実習室では調理実習やゲルベル乳脂計、水分計等を使用した食物に関する実験・計測ができます。

その他、家庭科、技術・家庭科(家庭系列)に関する教材研究、教材開発、指導法の研究等ができます。

◆ 4 階

視聴覚関係

●第1教育工学室



視聴覚研修室は、いわゆる階段教室になっており、教育工学的手法による指導法の研修や視聴覚機器等の活用法やこれらを用いた指導法の研究ができます。

視聴覚機器としては、アナライザー装置のほか、8ミリ・16ミリ映写機、教材提示装置、ビデオ装置、レコードプレーヤーなどを備えています。

教材開発関係

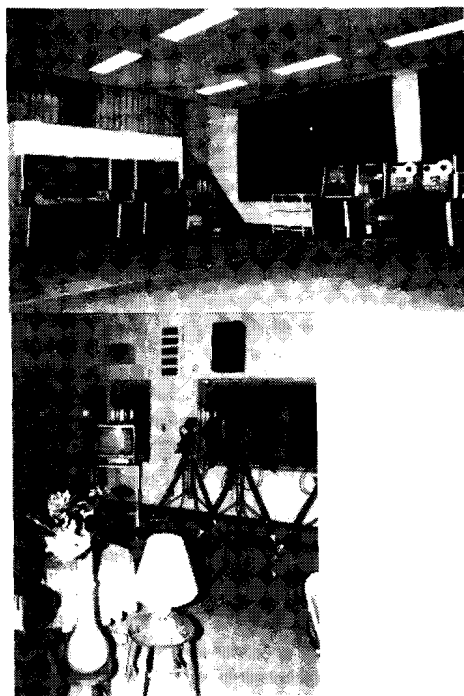
●第2教育工学室



授業分析装置による授業分析・評価等の研修ができます。また、TVカメラ、TPシート作製機、8ミリ撮影機などを活用して教材開発の研修や研究ができます。

TP教材の作製では、手書から機器を使った複写法まで幅広く活用できます。

●総合調整室・スタジオ



全館へのビデオ送り出し装置をはじめ、本格的なビデオ編集装置、 β 方式・VHS・U規格の相互ダビング装置などを備え、音声・録画教材作製ができます。

設備としては、テレシネ装置（8ミリ）ビデオ編集卓、音響調整卓、特殊効果附加装置、カラーAV調整卓、高速プリンターなどがあり、教材製作のほか機器操作実習等ができます。

スタジオでは、TVカメラによる独自の視聴覚教材の作成もできます。

音楽関係

●第3教育工学室(音楽演習室)



ML装置により、集団の中で個人の奏法、伴奏等の練習や二人または数名でのアンサンブルの練習などができます。

また、器楽合奏、合唱の練習や音楽鑑賞、指導法の研究、教材研究、鑑賞教材作製などができます。

語学関係

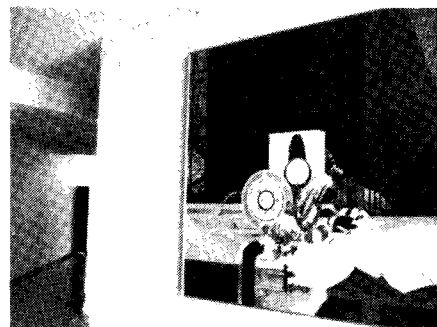
●第4教育工学室(語学演習室)



LL装置・オープンカセット編集実習装置による発音・聴解力トレーニング、発音教材製作・編集、教材研究、指導法の研究などができます。

館内を飾る先生方の作品

去る5月6日、別館の増築落成式が盛大に行なわれました。これを機会に、市立小・中・高等学校の図画工作・美術科研究会に所属されている先生方の作品を1階から4階の廊下壁面や控室に展示させていただくことになりました。憩いの一とときに鑑賞していただければと思います。



2階ロビーの油絵作品

職 員		職 名	氏 名	担 当
	所 長		久保田 尚	
	次 長		岩 竹 亨	
	次 長		平 松 康 久	
管理部門	主 任		岡 田 重 敏	
	主 事		反 田 英 明	○予算、決算、経理○施設設備管理
	主 事		来海谷 恭 子	○庶務 ○経理
第一研修部門	主任指導主事		原 克 昭	○障害児教育 ○教育相談
	指 導 主 事		田 淵 裕 子	○幼稚園教育
	指 導 主 事		橋 本 郁	○生徒指導 ○教育相談
	指 導 主 事		宮 河 治	○障害児教育 ○教育相談
	指 導 主 事		*江 上 正 明	○教育相談
	指 導 主 事		*有 村 憲 一郎	○教育相談
	指 導 主 事		木 本 寿 直	○教育学(視聴覚教育)
	研修指導員		新 宅 力 歳	○教育学(視聴覚教育)
第二研修部門	主任指導主事		登 雄 二	○国語科
	指 導 主 事		平 末 郁 馬	○社会科 ○道徳
	次 長		*平 松 康 久	○算数科、数学科
	指 導 主 事		福 原 紘 治郎	○外国語科(英語)
	指 導 主 事		升 尾 好 博	○特別活動
	図書資料室嘱託		川 原 栄 子	○図書資料関係事務
第三研修部門	主任指導主事		坂 本 信 義	○図画工作科、美術科
	指 導 主 事		森 川 明 水	○音楽科
	指 導 主 事		重 末 久 人	○理科
	指 導 主 事		三 宅 周 平	○理科
	指 導 主 事		中 村 道 徳	○技術・家庭科(技術系列)
	指 導 主 事		*田 淵 裕 子	○家庭科、技術・家庭科(家庭系列)
	研修指導員		野 澤 恒 夫	○理科

研修に関すること	原, 平末, 三宅, 橋本, 升尾
研究に関すること	登, 中村, 重末, 木本, 福原
教育学に関すること	坂本, 木本, 森川, 福原, 宮河
教育相談に関すること	原, 宮河, 橋本, 江上, 有村
図書・資料に関すること	登, 森川, 田淵, 平末, 重末
広報に関すること	坂本, 三宅, 田淵, 中村, 升尾

人 事 異 動

◆ 離 任

高木義夫次長(子ども図書館長へ)
溝口二郎次長(子ども文化科学館長へ)
木原亮主任社会教育主事
(市教委社会教育課課長補佐へ)
松尾邦彦指導主事(矢賀幼稚園長へ)
神田 侃指導主事(安芸中学校へ)
松本正明指導主事(市教委指導課へ)
都志見敏野主事(基町高等学校へ)

◆ 着 任

岩竹 亨次長(市教委指導課より)
平松康久次長(市教委学事課より)
重末久人指導主事(牛田新町小学校より)
木本寿直指導主事(長束小学校より)
橋本 郁指導主事(戸坂中学校より)
福原紘治郎指導主事(基町高等学校より)
宮河 治指導主事(牛田新町小学校より)
升尾好博指導主事(口田小学校より)
来海谷恭子主事(宇品東小学校より)
茶木米男研修指導員(元戸坂中学校)
新宅力歳研修指導員(元川内小学校)
野澤恒夫研修指導員(元己斐中学校)
川原栄子図書資料室嘱託(元市教委指導課)

編 集 後 記

今回は、第二期増築工事竣工に伴う落成式関連記事と新しい施設・設備の紹介を中心に編集しました。教育センターの御活用をお待ちします。